

きらめき通信☆



弁護士の先生による「いじめ予防教室」がありました

9月22日(木)、弁護士の北村勇樹先生を講師としてお招きし、「いじめ予防教室」が開催されました。

「複雑化する社会においてこれからどう生きていけばいいのか」、「中学生のいじめにはどのようなものがあるのか」、また、「いじめをなくすために一人一人意識しなければならないこと」についてのお話がありました。

生徒の皆さんは、最後まで姿勢よく講話を聞くことができました。質問が出たのも、お話を集中して聞いていたからだと思います。感想をいくつか載せます。



2年1組

いじめ防止の授業を聞いて、「いじめのきっかけは身近にある」ということがわかりました。

これまでの自分の行動を振り返ると、相手の気持ちを考えないで話していたこともありました。相手を傷つけていることもあったかもしれません。今日の授業を聞いて、今後は言葉や行動に気を付けて過ごしていきたいと思いました。また、周りで思いやりのない行動をする人がいたら、注意できる人になりたいと思いました。

今日の講座で「葬式ごっこ」事件のことを知りました。事件の名前だけでも、おかしいなと思います。被害者のA君が、級友から見て、「何をしてもいい人」になっていました。世界中、「何をしても許してくれる人」なんていないと思います。「何をされても傷つかない人もいない」と思うのに、どうしていじめてしまう人がいるのかと気になりました。いじている人は、よく、「いじめて楽しい」と言っている人が多いというイメージがありますが、一体どうして楽しいと思えるのかなあ、と思いました。



今日はいじめについて考えることができました。いじめは死につながることもあります。私はいじめを受けるのも、いじめをするのも、いじめを見るのも嫌です。何か些細なことでも、信頼のできる人に相談して、「いじめ」というものをなくしていきたいと思います。また、ふざけて言ったことがいじめにつながることもあると思います。そのため、「これは本当に言っているのか、してもいいのか?」「したことで後悔しないのか?」を考えて「考動」していきたいです。その場の空気や雰囲気、いじめにつながることもあると思うので、みんなが楽しい空気を作り出すよう意識することが大切です。また友達との遊び方も考えたいなと思いました。

SDGsでいじめと虐待について調べたことがありました。日本には、何人いじめの被害者がいるのか、どんな現状なのかを主に調べました。私は、いじめについて少しは分かっているつもりだったけれど、「葬式ごっこ」のA君へのいじめの話聞き、驚きました。また、とても胸が痛くなりました。

2020年のいじめの被害者数は、61万2496件だということを前に調べたことがありました。日本において、A君のような被害があると思うと、今の状態はとても「よくない」と改めて思いました。北村さんが言うておられたように、一つのことを決めつけず、違う視点で物事を見ていきたいです。また、私が傍観者にならないようにもしていきたいと思いました。

2年2組

私は今回の講話を聞いて、「いじめは身近であること」「いじめの責任は重大であること」を学びました。たとえ、自分が相手をいじめているつもりがなくても、相手は精神的苦痛を感じ、心に深い傷を負っているかもしれない、ということにも気付かされました。

また、一度ネットに載せた情報は完全に消すことは不可能に近く、将来的に自分を傷つける材料につながることもあることがわかりました。これから先も、自分の身は自分で守ると共に、全てが将来にもつながっていると心に留めながら生活したいと思いました。

僕は、学校での自分の行動を振り返ると、いじめをしたことも、されたこともあったと思います。なので、僕はこれからも、絶対にいじめをしないようにしていきたいです。弁護士さんが言っていたコップを使ったたとえ話は僕も理解できました。人間には、一人一人、心の中にコップがあるそうです。様々な大きさの違いは、「我慢できる大きさの違い」だそうです。これから先、もし自分のコップがこぼれそうになったら(こぼれる前に)、友達や親に相談してあふれないようにしていきたいです。僕は、これから先もいじめをしないようにしていきたいと思いました。SNSにもいじめやうその情報があるとわかりました。僕も、SNSの使い方等気を付けていきたいです。

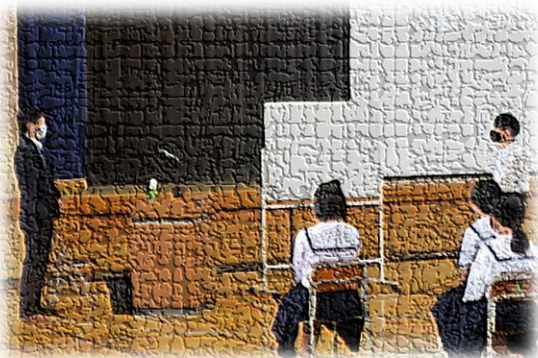
いじめの原因には、同調性というものがよくあるという話が心に残りました。ただの悪ふざけがエスカレートして周りの人にとってその光景が「普通」にならないように、その前に防ぐことがとても大事だなと思いました。

被害者は周りに相談すること、加害者、加担者は自分の行動を見返すこと、傍観者には見て見ぬふりをせず行動を起こすことなど、それぞれの立場での、いじめを防ぐ方法を知ることができました。これからも、全ての情報を、鵜呑みにせず、自分なりに考えて過ごしていきたいです。



少しのいじりであっても、だんだんエスカレートして行って、最終的には、人を自殺に追い込んでしまうことを知った。もし、いじめを受けている人が笑っていたとしても、心の中は、苦痛になっているかもしれないということにも気付かされた。

SNSの世界では、匿名だからといって晒しや暴露をしている人もいる。匿名であっても、裁判などで調査されれば、発信元が特定されること聞いた。これからは、ネットやLINEなどで悪口や晒し、暴露をしようとする人がいたら、止めようと思う。僕は、これからどんなことがあっても相手が嫌がることはしないし、流されないで行こうと思った。



北村先生からのメッセージ

- ①まずは、正しく知ることが大切。
- ②そして、自分でよく考えることも大切。
- ③さらに、経験を積み重ねることも大切。

